



長子配布

佐賀市立諸富北小学校 学校だより

No.5 令和8年7月17日

文責:校長 宮原孝子

もろきた通信

学校教育目標

夢をもち ふるさとを大切に思う児童が育つ学校

～ やさしく かしく たくましく ～

平和について考える

諸富北小では、毎年7月に平和集会を行い、平和について考える機会をもっています。今年度は「へいわってどんなこと?」(浜田桂子:作 童心社)の絵本の読み語りをし、その後に各学級で平和について考えました。読み語りの前にはこんな話をしました。

みなさんは、昨日の夜寝る時、どんなことを考えながら寝ましたか?

今日は楽しかったなあとか、今日は怒られたり、友達とけんかしたりしたからちょっと嫌だったなあなんて、1日をふり返った人がいたかもしれません。明日は誰とどんなことをして遊ぼうか、明日は苦手な勉強があるから嫌だなあとか、次の日のことを考えた人もいるかもしれません。

みなさんの中に、寝る前に、明日も自分や自分の家族は生きていられるだろうかと思いながら寝た人はいたでしょうか?おそろくないと思います。でも、世界を見渡した時、残念ながらそんな思いをしている子どもたちがたくさんいます。

例えば、ウクライナ。ある日突然、ロシアが攻め込んできて戦争になりました。このニュースを最初に見た時、すぐに終わるだろうと思っていました。でも、それから4年4か月たっても、まだ終わりません。ウクライナには、きっと明日も自分や自分の家族は生きていられるだろうかと思いながら眠りにつく子どもたちがたくさんいるのだと思います。他にも世界の中には、他の国と戦争をしていたり、よその国からミサイルで攻撃されていたりする国があります。

戦争って一度始まるとそう簡単には終わりません。始めることは簡単でも、終わらせることはとても難しいのです。終わるまでにたくさんの人の命が失われたり、たくさんのものや自然が壊されたりするのです。だから始めてはいけないのです。

今日は「平和ってどんなこと?」の絵本を通じて、平和のすばらしさを考えてほしいと思います。平和のすばらしさを考えることは、その平和を壊す戦争の愚かさを考えることでもあります。一人一人がじっくりと平和を守るために自分にできることを考える平和集会にしてほしいと思います。そしてぜひ考えたことを今日だけにとどまらず、考え続けてください。

毎年、修学旅行で6年生と一緒に語り部さんのお話を聞きます。その時に必ずおっしゃることが「あなたたち戦争を知らない世代が、平和のバトンをしっかりとつないでいてほしい。」ということです。実際に経験していなくても、いろいろな形で戦争経験者の話を聞くことはできます。本や映画などを通じて、戦争のことを知ることができます。学校の図書室や市立図書館などを利用して、平和や戦争について書かれた本に触れてほしいと思います。特に夏休みはテレビ番組で戦争についての特集番組も多く放映されます。知るだけではなく、考え続けることも大切なことです。それがバトンをつなぐということなのだと思います。こうした機会にご家庭でもぜひお話をしてみてください。

猛暑の日々です

梅雨明け後、連日猛暑に襲われました。年々暑さが増しているような気がします。大きな地球の営みの中では、ほんの小さなことですが、諸富北小では、環境 ISO の取組をしています。

6月の児童集会では、環境委員会を中心に ISO キックオフ宣言を行いました。「水を大切に使う」「ごみは分別する」「電気はこまめに消す」「リサイクル活動に取り組む」といった、みんなでがんばっていくことについて確認しました。小さなことですが、無駄に使わないように、全校で心がけています。

また、毎月行っているアルミ缶回収についてはご協力いただき、ありがとうございます。引き続き、よろしくお願いいたします。

いじめ・教職員の指導に関するアンケートについて

「いじめアンケート」「教職員の指導に関するアンケート」へのご協力ありがとうございました。

「いじめアンケート」については、すでに指導の済んでいる分以外にあげられているものではありませんでした。子どもたちについては、毎月、月初めに「〇月のわたし」ということで、最近の楽しかったことや困ったこと等についてアンケートをとっています。また、学期に1回、教育相談週間を設け、子どもたちと担任が直接1対1で話す時間をもち、その中で普段話しにくいことも話すことができるような機会をもっています。その中で話されたことで気になることは、その後すぐ対応するようにしています。

いじめは学校で安心・安全に過ごす権利を奪うものです。しかしながら、大人からは見えにくいところで起こるのも事実です。職員がアンテナを高くし、何かあった時に子どもたちが相談しやすい体制を作ることで、大きくなる前に対応ができるようにしていきたいと思います。

子どもの話だけではよく分からないという方もいらっしゃると思います。そういう時には「子どもがこう話しているけれど、学校での様子はどうですか?」とか「子どもの話だけではよく分からないので教えてください。」など、学校におたずねください。

教職員の指導について、ご指摘をいただいたことについては、関係の職員に事実確認を行い、必要に応じて指導をしています。日頃から、子どもたちの心を知らず知らずに傷つけるような不適切な指導をしないこと、適切でない指導は改めていくことを確認しています。気になることがありましたら、いつでもお知らせください。

どちらのアンケートにも自由記述欄に、たくさんのプラスの評価を書いています。職員の日頃のがんばりを認めていただき、大変励みになります。ありがとうございます。

1 学期が終わります

保護者・地域の皆様のご協力のおかげをもちまして、1学期を終えることができました。ありがとうございました。トラブルがなかったわけではありませんが、子どもたちは少しずつ、自分たちで解決する術を身に付けているように思います。

子どもたちが家庭・地域に戻る夏休みです。事前に学校でも指導をしていますが、子どもたちの行動で気になることがあれば、その場でお声かけいただけると助かります。子どもたちの健やかな育ちのため、夏休みも変わらぬお力添えをお願いします。